被災地の暮らしと法律に関する意識調査
（宮城県東松島市調査）
基礎集計書

2015 年８月

まえがき

本書は、2015 年 2 月に、宮城県東松島市に所在する仮設住宅および災害復興公営住宅の入居者を対象として実施した「被災地の暮らしと法律に関する意識調査（宮城県東松島市調査)」の基礎集計書である。

調査にご協力をいただいた多くの住民の方々、また、調査の実施に際して各種の協力をいただいた東松島市その他の関係者に、この場を借りて心から感謝を申し上げる。

2015 年 8 月

調査グループを代表して
佐藤　岩夫

目　次

Ⅰ　調査の概要 ･･･ 1

Ⅱ　基礎集計表 ･･･ 7

Ⅲ　調査資料

　1　調査依頼状 ･･･ 42

　2　調査票（仮設住宅用） ･････････････････････････････････ 43

　3　調査票（災害復興公営住宅用） ･････････････････････････ 54

Ⅳ　調査実施グループ ･････････････････････････････････････ 55

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

本調査は、東日本大震災の発生から 4 年を経た時期において、震災を機縁として被災者が経験した法律問題と、その問題を解決するために被災者がとった相談や解決の行動の実態を明らかにすることを目的とする。それを通じて、被災者に対する法的支援の施策の一層の充実・改善に向けた手がかりを得る効果が期待される。

先行する関連調査としては、2012 年 11 月に日本司法支援センター（法テラス）が実施した「東日本大震災の被災者等への法的支援に関するニーズ調査」がある（以下、「法テラス 2012 年調査」という。調査報告書は、日本司法支援センター（法テラス）編『東日本大震災の被災者等への法的支援に関するニーズ調査最終報告書』〔2014 年 5 月〕)。同調査には、本調査のメンバーの一部も参加・協力する機会があったが、その調査実施から２年余りを経て、同調査の知見をあらためて追試・検証することもまた、本調査の目的である。

２　調査の概要

表１　調査の概要

調査名称	被災地の暮らしと法律に関する意識調査（宮城県東松島市調査）
調査実施時期	2015 年 2 月
調査対象者	宮城県東松島市に所在する仮設住宅および災害復興公営住宅に居住する被災者（全世帯）
調査方法	ポスティングによる配付、郵送による回収
調査実施数	1,252 戸（内訳：仮設住宅 939 戸、災害復興公営住宅 313 戸）
有効回収数	250 票（内訳：仮設住宅 188 票、災害復興公営住宅 62 票）
有効回収率	20.0%（内訳：仮設住宅 20.0%、災害復興公営住宅 19.8%）
調査主体	東京大学社会科学研究所佐藤岩夫研究室 ※調査実施は調査会社に委託
調査予算	日本学術振興会・科学研究費補助金基盤研究(B)「被災経験と法的ニーズの社会的構築過程に関する実証研究」（研究代表者：佐藤岩夫、課題番号：25285002）

（１）調査実施時期

調査票配付期間　　2015 年 2 月 7 日～同 22 日
調査票回収締切り　2015 年 3 月 4 日

（２）調査対象

調査対象は、宮城県東松島市に所在する仮設住宅および災害復興公営住宅に居住する被災者（全世帯）である。

調査単位は「世帯」とし、回答は、世帯主または世帯の状況がわかる方に依頼した。世帯単位の調査では、世帯内で発生する問題やトラブルを拾い上げることの困難が予想されるが、被災地では個人を適切に抽出する資料が不備である状況が続いているため、世帯単位で調査を実施した。

（３）調査方法

調査票の配付・回収は、調査を委託した調査会社の調査員が仮設住宅および災害復興公営住宅の各戸にポスティングし、郵送で回収する方法で行った。

調査票返送者には、謝礼として、後日、調査会社より、プリペイドカード（500 円相当）を送付した。返送先ラベルは調査票とは別に管理し、回答の匿名性を確保した。

（４）調査実施数

上記（１）の調査期間中に、1,252 戸に調査票を配付した。内訳は、仮設住宅 939 戸、災害復興公営住宅 313 戸である

事前に東松島市より提供を受けた資料では、同市所在の仮設住宅の入居世帯数は 1,106 戸（2014 年 12 月 12 日現在）、災害復興公営住宅の入居世帯数は 319 戸（2015 年 1 月 15 日現在）である。これと比較すると、とくに仮設住宅で、調査票の実際の配付数が少なくなっている（事前の資料による入居世帯数と実際の調査票配付数の差は、仮設住宅で 167、災害復興公営住宅で 6）。その理由は、調査会社の報告によれば、①復興事業の進捗に伴い仮設住宅からの転出が進んでおり調査時点では空き住戸が多かったこと、②ポスティングの際の調査拒否などである。

（５）回収数・回収率

配付した調査票のうち、2015 年 3 月 4 日の最終締切りまでに返送されたのは 250 票である。内訳は仮設住宅 188 票、災害復興公営住宅 62 票である。

配付数に対する回収率は 20.0%（仮設住宅は 20.0%、災害復興公営住宅は 19.8%）となる。回収率 20%という数字は決して高いとはいえないが、その理由としては、①本調査の内容が法律問題やトラブル経験という一般的には回答しにくいものであること、②諸般の事情で調査票配付から回収締切りまでの期間がやや短かったことなどが考えられる。

（６）調査組織・調査予算

調査主体は東京大学社会科学研究所佐藤岩夫研究室である。

調査の企画・実施には全国の研究者が参加した。そのメンバーの一覧を「Ⅳ」に掲げた。

実際の調査は（株）日本リサーチセンターに委託した。

調査には、日本学術振興会・科学研究費補助金基盤研究(B)「被災経験と法的ニーズの社会的構築過程に関する実証研究」（研究代表者：佐藤岩夫、課題番号：25285002）の予算を使用した。

（７）調査内容

調査票では、①震災発生から現在までの法律問題経験の有無および問題の種類、②そのなかで「最も重大な問題」の種類・内容・発生時期・金額への換算、③「最も重大な問題」を解決するための弁護士・司法書士等への相談状況、④「最も重大な問題」を解決するための各種解決制度の利用および解決の状況、⑤各種制度の認知状況等を尋ねた。そのほか、⑥回答世帯の属性として、震災による被害の状況、現在の世帯構成、世帯員の性別・年齢・就業状況等、震災を契機とする別居家族の有無・人数、主な収入源・暮らし向き、近隣と

のサポート関係等を尋ねた。

調査票を本書「Ⅲ」に資料として掲載した。調査票は仮設住宅入居者用および災害復興公営住宅入居者用の 2 種類を用意したが、問 21 を別の質問としたほかは、内容・体裁は同一である。

なお、上記「1　調査目的」で述べたように、本調査は、法テラス 2012 年調査の知見の追試・検証も念頭に置いているため、基本的な調査項目および形式は、法テラス 2012 年調査となるべく共通性を持たせた。ただし、本調査の関心から独自の質問項目を追加する一方、法テラス 2012 年調査で設けられていた法テラス固有の関心に基づく質問は割愛した。参考資料として、本調査および法テラス 2012 年調査の調査項目の比較を章末に掲げた（**表 2**）。

３　調査地域の特性：宮城県東松島市の法的環境

（１）概況

本調査を実施した宮城県東松島市は、県の中部に位置し、広い範囲で太平洋（石巻湾）に面している。東日本大震災による津波で大きな被害を受け、死者・行方不明者は 1,154 人、住宅の全壊が 5,515 戸、半壊が 5,559 戸、一部損壊が 3,506 戸であった（消防庁『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第 150 報）』〔2014 年 9 月 10 日〕）。

仮設住宅は、応急仮設住宅 1,753 戸、既設公営住宅転用 93 戸、民間賃貸住宅の応急仮設住宅（みなし仮設住宅）1,326 戸、合計 3,172 戸が整備された（2011 年 12 月 26 日策定『東松島市復興まちづくり計画』）。災害公営住宅は 1,010 戸が整備予定であり（2013 年 9 月『東松島市災害公営住宅ガイド』）、2015 年 1 月時点では 321 戸が完成している。

震災前の人口は 42,903 人（2010 年国勢調査）、調査時点の人口は 39,782 人である（2015 年 2 月 1 日現在の推計人口）。

（２）法的環境

震災以前は東松島市に弁護士事務所は存在しなかったが、2013 年 9 月に、市内に法律事務所（弁護士 1 名）が開設された。また、現在、同市には 5 名の司法書士が事務所を置いている。さらに、2012 年 2 月に、東松島市に法テラスの被災地出張所（「法テラス東松島」）が開設された。

東松島市の周辺では、東に隣接する石巻市に震災前から一定数の弁護士・司法書士が活動しており、2015 年 4 月末現在では、弁護士 11 名、司法書士 15 名が石巻市に事務所を置いている。また、東松島市から車で 1 時間弱の距離にある仙台市には多数の弁護士・司法書士が事務所を置いている（2015 年 4 月末現在で、弁護士 391 名、司法書士 187 名。以上の数字は、仙台弁護士会および宮城県司法書士会のウェッブサイトによる〔2015 年 4 月 28 日最終アクセス〕）。

法テラス 2012 年調査は、主として地震・津波による被害を受けた宮城県の 3 か所（仙台市・南三陸町・女川町）および地震・津波に加えて東京電力福島第一原発事故による被害を受けた福島県の 2 か所（二本松市〔浪江町〕・相馬市）で調査を実施した。宮城県の 3 か所の選定基準は、①法律事務所が多数存在する都市部の地域（仙台市）、②法律事務所のない沿岸部において法テラス被災地出張所が設置されている地域（南三陸町）、③法律事務所のない沿岸部において法テラス被災地出張所が設置されていない地域（女川町）である（上掲・法テラス編『東日本大震災の被災者等への法的支援に関するニーズ調査最終報告書』５頁参照）。東松島市は、法テラス被災地出張所が設置されている点で、②の南三陸町に近

い地域特性を持つ。ただし、震災後市内に法律事務所が開設された点、および、法律事務所が多数存在する仙台市に比較的近い点で、南三陸町よりは通常の法律事務所にアクセスしやすい環境にある。そのような環境において、法テラス被災地出張所の利用状況を確認することも、本調査が注目するポイントの一つとなる。

〈参考〉

表２　本調査および法テラス 2012 年調査の調査項目の比較

調査項目	本調査 （2015 年 2 月実施）	法テラス 2012 年調査 （2012 年 11 月実施）
震災発生当時の居住地	問１	問１
震災発生当時の居住形態	問２	問２
震災による住宅の被害状況	問３	
震災後の法律問題の経験	問４	問３
震災後に経験した「最も重大な問題」	問５	問４
「最も重大な問題」の内容・経過	問５付問１	問４付問１
「最も重大な問題」が最初に起きた時期	問５付問２	
「最も重大な問題」と震災の関係	問５付問３	
「最も重大な問題」の金額	問５付問４	問４付問２
「最も重大な問題」を解決するために相談した弁護士・司法書士	問６	問５
最も役に立った弁護士・司法書士	問６付問１	
最も役に立った弁護士・司法書士がしてくれた内容	問６付問２	
最も役に立った弁護士・司法書士に対する満足度	問６付問３	
弁護士・司法書士に相談していない理由	問６付問４	問５付問
「最も重大な問題」を解決するために弁護士・司法書士以外で相談した先	問７	問６
「最も重大な問題」を解決するための書籍やインターネットの利用	問８	
「最も重大な問題」を解決するための裁判・調停の利用	問９Ａ	問８Ａ（付問 1～付問３で詳細な質問）
「最も重大な問題」を解決するための弁護士会の「震災ＡＤＲ」の利用	問９Ｂ	
「最も重大な問題」を解決するための私的整理ガイドラインの利用	問９Ｃ	問８Ｂ
「最も重大な問題」の解決状況	問 10	問７
「最も重大な問題」の解決（現状）の満足度	問 11	

原発事故関連問題の経験	問 4 の選択肢 25	（福島版の調査票）問９～問12で詳細な質問
震災特例措置（無料法律相談）の認知状況	問 12	問 14・問 15（「無料法律相談」「費用の立て替え」の利用意向の詳細な質問）
法テラスの認知状況	問 13(法テラス東松島)	問 13（法テラス一般）
弁護士会の法律相談センターの認知状況	問 14	
弁護士会の紛争解決センター（ＡＤＲ）の認知状況	問 15	
法テラスへの期待、意見		問 16・問 17
現在同居の家族	問 16（人数、世帯主との関係、性別、年齢、職業の有無、通院・障害・要介護の状況等）、問 23（回答者と世帯主との続柄）	問 18（回答者の性別・年齢・世帯主との続柄）、問 19（同居人数、高齢者の人数、通院・障害・要介護の状況等）
震災後の世帯分離の状況	問 17（震災前に同居していて現在別居の家族の有無・人数、別居者の性別・年齢・居住地・将来の同居意向）	問 20（別居家族の有無・人数）
主な働き手の就業状況	問 18 (雇用形態・産業・職種)	問 21 (雇用形態・産業・職種)
世帯の主な収入源	問 19（震災前と現在）	
世帯の経済状態	問 20（震災前からの暮らし向きの変化）	問 22（世帯年収）
住まいに関する見通し	問 21（①仮設住宅入居者には転居先の見通し、②災害復興公営住宅入居者には永住意向を質問）	
近隣サポートの関係	問 22（震災前と現在）	
各種サポート資源についての考え	問 24（震災前）・問 25（現在）	
回答者の精神的健康度	問 26	
自由意見記入欄	あり（全般的に）	あり（法テラスについて）
追加インタビュー調査	なし	あり

Ⅱ　基礎集計表

（凡例）
1.「全体」は回答者全体、「仮設」は仮設住宅入居者、「復興公営」は災害復興公営住宅入居者の回答。
2. Nは人数、%は「合計」に対する比率。

調査対象者の種別

	N	%
仮設住宅居住者	188	75.2
災害復興公営住宅居住者	62	24.8
合計	250	100.0

【全員への質問】

問1　震災発生当時の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
宮城県東松島市	235	94.0	177	94.1	58	93.5
それ以外の場所	9	3.6	7	3.7	2	3.2
無回答	6	2.4	4	2.1	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問2　震災発生当時の居住形態

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
持ち家（一戸建て）	182	72.8	154	81.9	28	45.2
持ち家（集合住宅）	－	－	－	－	－	－
公的な賃貸住宅（市営・県営・公団・雇用促進住宅）	12	4.8	5	2.7	7	11.3
民間の賃貸住宅（一戸建て）	27	10.8	14	7.4	13	21.0
民間の賃貸住宅（集合住宅・アパート）	24	9.6	11	5.9	13	21.0
社宅・官舎・寮	－	－	－	－	－	－
その他	1	0.4	1	0.5	0	0.0
無回答	4	1.6	3	1.6	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問3　震災による住宅の被害状況

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
全壊	223	89.2	174	92.6	49	79.0
大規模半壊	18	7.2	9	4.8	9	14.5
半壊	3	1.2	1	0.5	2	3.2
一部損壊	－	－	－	－	－	－
被害はなかった	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無回答	4	1.6	2	1.1	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問4　震災後の法律問題の経験（複数回答）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
商品やサービスの欠陥や返品、解約	9	3.6	8	4.3	1	1.6
借金	31	12.4	22	11.7	9	14.5
貸金	3	1.2	2	1.1	1	1.6
土地・建物の賃貸借	16	6.4	13	6.9	3	4.8
土地・建物の売買、建築など	34	13.6	28	14.9	6	9.7
住宅ローン	23	9.2	19	10.1	4	6.5
土地の境界	10	4.0	8	4.3	2	3.2
現在の住まいでの近隣関係	28	11.2	23	12.2	5	8.1
交通事故の損害賠償	8	3.2	5	2.7	3	4.8
それ以外の損害賠償	1	0.4	1	0.5	0	0.0
離婚	13	5.2	8	4.3	5	8.1
相続、遺言	24	9.6	20	10.6	4	6.5
家庭内暴力（ＤＶ）	5	2.0	3	1.6	2	3.2
賃金・退職金	6	2.4	5	2.7	1	1.6
解雇・雇い止め	26	10.4	15	8.0	11	17.7
労働災害・安全衛生に関する問題	2	0.8	1	0.5	1	1.6
子どものいじめ等学校に関する問題	6	2.4	3	1.6	3	4.8
地震保険の保険金請求	28	11.2	23	12.2	5	8.1
それ以外の民間の保険金請求	13	5.2	9	4.8	4	6.5
税金に関する問題	24	9.6	17	9.0	7	11.3
年金・福祉に関する問題	31	12.4	24	12.8	7	11.3
生活保護に関する問題	6	2.4	3	1.6	3	4.8
義援金・災害支援金等の給付金に関する問題	39	15.6	29	15.4	10	16.1
自治体による土地の買い上げに関する問題	48	19.2	44	23.4	4	6.5
東京電力福島第１原子力発電所事故に関する問題	4	1.6	4	2.1	0	0.0
その他（上記以外）の問題	17	6.8	11	5.9	6	9.7
問題は経験していない	71	28.4	56	29.8	15	24.2
わからない	9	3.6	7	3.7	2	3.2
無回答	20	8.0	12	6.4	8	12.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問4（大分類） 震災後の法律問題の経験（複数回答）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
生活取引	12	4.8	10	5.3	2	3.2
債務	49	19.6	36	19.1	13	21.0
住まい・不動産	47	18.8	38	20.2	9	14.5
近隣	28	11.2	23	12.2	5	8.1
損害賠償	9	3.6	6	3.2	3	4.8
家族	37	14.8	28	14.9	9	14.5
労働	30	12.0	19	10.1	11	17.7
学校	6	2.4	3	1.6	3	4.8
保険	34	13.6	26	13.8	8	12.9
行政	51	20.4	36	19.1	15	24.2
災害復興制度	70	28.0	59	31.4	11	17.7
東電原発事故に関する問題	4	1.6	4	2.1	0	0.0
その他	17	6.8	11	5.9	6	9.7
問題経験なし	71	28.4	56	29.8	15	24.2
わからない	9	3.6	7	3.7	2	3.2
無回答	20	8.0	12	6.4	8	12.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）大分類の定義（問４の選択肢との対応関係）：
『生活取引』＝「商品やサービスの欠陥や返品、解約」「貸金」
『債務』＝「借金」「住宅ローン」
『住まい・不動産』＝「土地・建物の賃貸借」「土地・建物の売買、建築など」「土地の境界」
『近隣』＝「現在の住まいでの近隣関係」
『損害賠償』＝「交通事故の損害賠償」「それ以外の損害賠償」
『家族』＝「離婚」「相続、遺言」「家庭内暴力（ＤＶ）」
『労働』＝「賃金・退職金」「解雇・雇い止め」「労働災害・安全衛生に関する問題」
『学校』＝「子どものいじめ等学校に関する問題」
『保険』＝「地震保険の保険金請求」「それ以外の民間の保険金請求」
『行政』＝「税金に関する問題」「年金・福祉に関する問題」「生活保護に関する問題」
『災害復興制度』＝「義援金・災害支援金等の給付金に関する問題」「自治体による土地の買い上げに関する問題」
『東電原発事故に関する問題』＝「東京電力福島第１原子力発電所事故に関する問題」
『その他の問題』＝「その他の問題」

【問5～問11は、問4で震災後に何らかの問題を経験したと回答した人への質問】

問5　震災後に経験した「最も重大な問題」

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
商品やサービスの欠陥や返品、解約	3	2.0	2	1.8	1	2.7
借金	15	10.0	10	8.8	5	13.5
貸金	－	－	－	－	－	－
土地・建物の賃貸借	6	4.0	5	4.4	1	2.7
土地・建物の売買、建築など	10	6.7	8	7.1	2	5.4
住宅ローン	11	7.3	9	8.0	2	5.4
土地の境界	1	0.7	0	0.0	1	2.7
現在の住まいでの近隣関係	12	8.0	11	9.7	1	2.7
交通事故の損害賠償	4	2.7	1	0.9	3	8.1
それ以外の損害賠償	－	－	－	－	－	－
離婚	4	2.7	2	1.8	2	5.4
相続、遺言	15	10.0	14	12.4	1	2.7
家庭内暴力（ＤＶ）	1	0.7	1	0.9	0	0.0
賃金・退職金	2	1.3	2	1.8	0	0.0
解雇・雇い止め	8	5.3	3	2.7	5	13.5
労働災害・安全衛生に関する問題	－	－	－	－	－	－
子どものいじめ等学校に関する問題	3	2.0	2	1.8	1	2.7
地震保険の保険金請求	1	0.7	1	0.9	0	0.0
それ以外の民間の保険金請求	1	0.7	0	0.0	1	2.7
税金に関する問題	2	1.3	2	1.8	0	0.0
年金・福祉に関する問題	10	6.7	7	6.2	3	8.1
生活保護に関する問題	2	1.3	1	0.9	1	2.7
義援金・災害支援金等の給付金に関する問題	7	4.7	5	4.4	2	5.4
自治体による土地の買い上げに関する問題	12	8.0	12	10.6	0	0.0
東電原発事故に関する問題	1	0.7	1	0.9	0	0.0
その他（上記以外）の問題	12	8.0	9	8.0	3	8.1
無回答	7	4.7	5	4.4	2	5.4
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問5（大分類） 震災後に経験した「最も重大な問題」

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
生活取引	3	2.0	2	1.8	1	2.7
債務	26	17.3	19	16.8	7	18.9
住まい・不動産	17	11.3	13	11.5	4	10.8
近隣	12	8.0	11	9.7	1	2.7
損害賠償	4	2.7	1	0.9	3	8.1
家族	20	13.3	17	15.0	3	8.1
労働	10	6.7	5	4.4	5	13.5
学校	3	2.0	2	1.8	1	2.7
保険	2	1.3	1	0.9	1	2.7
行政	14	9.3	10	8.8	4	10.8
災害復興制度	19	12.7	17	15.0	2	5.4
東電原発事故に関する問題	1	0.7	1	0.9	0	0.0
その他	12	8.0	9	8.0	3	8.1
無回答	7	4.7	5	4.4	2	5.4
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

注）大分類の定義は前出・問４と同じ。

問5付問1 「最も重大な問題」の内容・経過

（自由記述）省略

問5付問2 「最も重大な問題」が最初に起きた時期（年）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
2011年	66	44.0	47	41.6	19	51.4
2012年	15	10.0	12	10.6	3	8.1
2013年	17	11.3	11	9.7	6	16.2
2014年	16	10.7	12	10.6	4	10.8
2015年	－	－	－	－	－	－
震災以前	3	2.0	3	2.7	0	0.0
無回答・不詳	33	22.0	28	24.8	5	13.5
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問5付問2 「最も重大な問題」が最初に起きた時期（年+月）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
2011年3月	28	18.7	20	17.7	8	21.6
2011年4月	5	3.3	4	3.5	1	2.7
2011年5月	8	5.3	3	2.7	5	13.5
2011年6月	10	6.7	7	6.2	3	8.1
2011年7月	3	2.0	2	1.8	1	2.7
2011年8月	3	2.0	3	2.7	0	0.0
2011年9月	3	2.0	3	2.7	0	0.0
2011年10月	3	2.0	3	2.7	0	0.0
2011年11月	－	－	－	－	－	－
2011年12月	2	1.3	2	1.8	0	0.0
2012年1月	－	－	－	－	－	－
2012年2月	－	－	－	－	－	－
2012年3月	－	－	－	－	－	－
2012年4月	－	－	－	－	－	－
2012年5月	6	4.0	5	4.4	1	2.7
2012年6月	2	1.3	1	0.9	1	2.7
2012年7月	－	－	－	－	－	－
2012年8月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2012年9月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2012年10月	－	－	－	－	－	－
2012年11月	－	－	－	－	－	－
2012年12月	－	－	－	－	－	－
2013年1月	2	1.3	1	0.9	1	2.7
2013年2月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2013年3月	1	0.7	0	0.0	1	2.7
2013年4月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2013年5月	3	2.0	2	1.8	1	2.7
2013年6月	1	0.7	0	0.0	1	2.7
2013年7月	2	1.3	2	1.8	0	0.0
2013年8月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2013年9月	1	0.7	0	0.0	1	2.7
2013年10月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2013年11月	－	－	－	－	－	－
2013年12月	－	－	－	－	－	－
2014年1月	2	1.3	2	1.8	0	0.0
2014年2月	－	－	－	－	－	－
2014年3月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2014年4月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2014年5月	2	1.3	0	0.0	2	5.4
2014年6月	1	0.7	1	0.9	0	0.0
2014年7月	2	1.3	2	1.8	0	0.0
2014年8月	2	1.3	1	0.9	1	2.7
2014年9月	－	－	－	－	－	－
2014年10月	2	1.3	2	1.8	0	0.0
2014年11月	－	－	－	－	－	－
2014年12月	1	0.7	0	0.0	1	2.7
2015年1月	－	－	－	－	－	－
2015年2月	－	－	－	－	－	－
震災以前	2	1.3	2	1.8	0	0.0
無回答・不詳	45	30.0	37	32.7	8	21.6
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問5付問3 「最も重要な問題」と震災の関係

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強く関係している	93	62.0	70	61.9	23	62.2
少し関係している	17	11.3	12	10.6	5	13.5
どちらともいえない	6	4.0	5	4.4	1	2.7
あまり関係していない	7	4.7	6	5.3	1	2.7
まったく関係していない	10	6.7	6	5.3	4	10.8
わからない	5	3.3	4	3.5	1	2.7
無回答	12	8.0	10	8.8	2	5.4
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問5付問4 「最も重大な問題」の金額

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
わかる	63	42.0	49	43.4	14	37.8
わからない	36	24.0	24	21.2	12	32.4
お金には換算できない	31	20.7	23	20.4	8	21.6
無回答	20	13.3	17	15.0	3	8.1
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問5付問4－1 「最も重大な問題」の換算金額 【問5付問4で「わかる」と回答した人】

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
1～99万円	20	31.7	13	26.5	7	50.0
100～999万円	25	39.7	20	40.8	5	35.7
1000～9999万円	16	25.4	14	28.6	2	14.3
1億円以上	1	1.6	1	2.0	0	0.0
無回答	1	1.6	1	2.0	0	0.0
合計	63	100.0	49	100.0	14	100.0

問6 「最も重大な問題」を解決するために相談した弁護士や司法書士（複数回答）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
弁護士の事務所に相談した	21	14.0	16	14.2	5	13.5
司法書士の事務所に相談した	17	11.3	16	14.2	1	2.7
弁護士会に相談した	10	6.7	7	6.2	3	8.1
司法書士会に相談した	4	2.7	4	3.5	0	0.0
法テラスの事務所や出張所に相談した	57	38.0	50	44.2	7	18.9
避難所や仮設住宅に来た弁護士に相談した	5	3.3	5	4.4	0	0.0
避難所や仮設住宅に来た司法書士に相談した	6	4.0	6	5.3	0	0.0
その他の場所・方法で相談した	5	3.3	5	4.4	0	0.0
弁護士や司法書士には相談していない	54	36.0	33	29.2	21	56.8
わからない	6	4.0	4	3.5	2	5.4
無回答	15	10.0	12	10.6	3	8.1
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問6（統合）「最も重大な問題」を解決するために相談した弁護士や司法書士

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
弁護士・司法書士に相談した	75	50.0	64	56.6	11	29.7
弁護士・司法書士には相談していない	54	36.0	33	29.2	21	56.8
わからない	6	4.0	4	3.5	2	5.4
無回答	15	10.0	12	10.6	3	8.1
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

注）統合項目の定義（問６の選択肢との対応関係）：
『弁護士・司法書士に相談した』＝「弁護士の事務所に相談した」「司法書士の事務所に相談した」「弁護士会に相談した」「司法書士会に相談した」「法テラスの事務所や出張所に相談した」「避難所や仮設住宅に来た弁護士に相談した」「避難所や仮設住宅に来た司法書士に相談した」「その他の場所・方法で相談した」のいずれか１つでも選択
『弁護士・司法書士には相談していない』＝「弁護士や司法書士には相談していない」

問6付問1　最も役に立った弁護士または司法書士 【問6で弁護士・司法書士に相談した人】

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
弁護士の事務所	10	13.3	7	10.9	3	27.3
司法書士の事務所	10	13.3	9	14.1	1	9.1
弁護士会	2	2.7	1	1.6	1	9.1
司法書士会	1	1.3	1	1.6	0	0.0
法テラスの事務所や出張所	36	48.0	32	50.0	4	36.4
避難所や仮設住宅に来た弁護士	1	1.3	1	1.6	0	0.0
避難所や仮設住宅に来た司法書士	2	2.7	2	3.1	0	0.0
その他の場所・方法	3	4.0	3	4.7	0	0.0
無回答	10	13.3	8	12.5	2	18.2
合計	75	100.0	64	100.0	11	100.0

問6付問2　最も役に立った弁護士や司法書士がしてくれた内容（複数回答）【問6で弁護士・司法書士に相談した人】

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
話を聞いてくれた	38	50.7	34	53.1	4	36.4
法律や制度に関する情報を与えてくれた	26	34.7	22	34.4	4	36.4
相手方との間に入って交渉してくれた	9	12.0	7	10.9	2	18.2
問題を自分で解決する方法を教えてくれた	19	25.3	15	23.4	4	36.4
他の機関や専門家を紹介してくれた	2	2.7	2	3.1	0	0.0
不安な気持ちを落ち着かせてくれた	9	12.0	6	9.4	3	27.3
上記以外のことをしてくれた	1	1.3	1	1.6	0	0.0
なにもしてくれなかった	2	2.7	2	3.1	0	0.0
わからない	2	2.7	1	1.6	1	9.1
無回答	16	21.3	15	23.4	1	9.1
合計	75	100.0	64	100.0	11	100.0

問6付問3　最も役に立った弁護士や司法書士に対する満足度【問6で弁護士・司法書士に相談した人】

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
満足している	21	28.0	19	29.7	2	18.2
どちらかといえば満足している	15	20.0	12	18.8	3	27.3
どちらともいえない	12	16.0	11	17.2	1	9.1
どちらかといえば満足していない	4	5.3	2	3.1	2	18.2
満足していない	4	5.3	3	4.7	1	9.1
わからない	3	4.0	2	3.1	1	9.1
無回答	16	21.3	15	23.4	1	9.1
合計	75	100.0	64	100.0	11	100.0

問6付問4　弁護士や司法書士に相談していない理由（複数回答）【問6で弁護士・司法書士には相談ししていない人】

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
時間や手間がかかりそうだから	9	16.7	3	9.1	6	28.6
費用がかかりそうだから	14	25.9	6	18.2	8	38.1
相談できる弁護士・司法書士を知らないから	10	18.5	3	9.1	7	33.3
事務所が近くにないから	7	13.0	3	9.1	4	19.0
敷居が高いから	5	9.3	1	3.0	4	19.0
相談するほどの問題ではないから	13	24.1	5	15.2	8	38.1
分野が違うと思うから	7	13.0	5	15.2	2	9.5
他の専門家に相談するから	4	7.4	2	6.1	2	9.5
自分で解決したいから	8	14.8	5	15.2	3	14.3
人に知られたくないから	3	5.6	2	6.1	1	4.8
相談しても無駄だと思うから	17	31.5	10	30.3	7	33.3
その他	5	9.3	2	6.1	3	14.3
わからない	3	5.6	3	9.1	0	0.0
無回答	2	3.7	2	6.1	0	0.0
合計	54	100.0	33	100.0	21	100.0

問7 「最も重大な問題」を解決するために弁護士や司法書士以外で相談した先（複数回答）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
家族・親せき	50	33.3	33	29.2	17	45.9
友人・知人・同僚	32	21.3	23	20.4	9	24.3
生活支援相談員、民生委員、児童委員	9	6.0	5	4.4	4	10.8
福祉事務所、社会福祉協議会、地域包括支援センター	16	10.7	11	9.7	5	13.5
消費生活センター	－	－	－	－	－	－
労働基準監督署、ハローワーク、労働局	2	1.3	2	1.8	0	0.0
警察	6	4.0	3	2.7	3	8.1
その他の国・都道府県・市町村の窓口	10	6.7	7	6.2	3	8.1
行政書士、税理士、社会保険労務士	5	3.3	3	2.7	2	5.4
保険会社	3	2.0	1	0.9	2	5.4
金融機関	2	1.3	2	1.8	0	0.0
ボランティア・民間団体	1	0.7	0	0.0	1	2.7
その他の相談機関や専門家	4	2.7	3	2.7	1	2.7
以上のどこにも相談していない	30	20.0	21	18.6	9	24.3
わからない	6	4.0	4	3.5	2	5.4
無回答	25	16.7	24	21.2	1	2.7
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問7（統合）「最も重大な問題」を解決するために弁護士や司法書士以外で相談した先（複数回答）

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
家族・親せき・知人等に相談した	66	44.0	47	41.6	19	51.4
法律以外の相談機関や専門家に相談した	47	31.3	32	28.3	15	40.5
どこにも相談していない	30	20.0	21	18.6	9	24.3
わからない	6	4.0	4	3.5	2	5.4
無回答	25	16.7	24	21.2	1	2.7
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

注）統合項目の定義（問７の選択肢との対応関係）：
『家族・親せき・知人等に相談した』＝「家族・親せき」「友人・知人・同僚」のいずれか１つでも選択
『法律以外の相談機関や専門家に相談した』＝「生活支援相談員、民生委員、児童委員」「福祉事務所、社会福祉協議会、地域包括支援センター」「消費生活センター」「労働基準監督署、ハローワーク、労働局」「警察」「その他の国・都道府県・市町村の窓口」「行政書士・税理士・社会保険労務士」「保険会社」「金融機関」「ボランティア・民間団体」「その他の相談機関や専門家」のいずれか１つでも選択
『どこにも相談していない』＝「以上のどこにも相談していない」

問8 「最も重大な問題」を解決するための書籍やインターネットの利用

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
調べた	25	16.7	12	10.6	13	35.1
調べなかった	85	56.7	67	59.3	18	48.6
わからない	12	8.0	8	7.1	4	10.8
無回答	28	18.7	26	23.0	2	5.4
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問9 「最も重大な問題」を解決するための手続利用 A. 裁判・調停

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
すでに行っている（行った）	13	8.7	12	10.6	1	2.7
今後行うことを考えている	3	2.0	2	1.8	1	2.7
今のところ行う予定はない	63	42.0	43	38.1	20	54.1
わからない	27	18.0	18	15.9	9	24.3
無回答	44	29.3	38	33.6	6	16.2
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問9 「最も重大な問題」を解決するための手続利用 B. 仙台弁護士会の「震災ADR」

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
すでに行っている（行った）	3	2.0	3	2.7	0	0.0
今後行うことを考えている	1	0.7	1	0.9	0	0.0
今のところ行う予定はない	33	22.0	25	22.1	8	21.6
この制度自体を知らない	51	34.0	36	31.9	15	40.5
わからない	20	13.3	11	9.7	9	24.3
無回答	42	28.0	37	32.7	5	13.5
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問9 「最も重大な問題」を解決するための手続利用 C. 私的整理ガイドライン

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
住宅ローン等の問題は抱えていない	29	19.3	23	20.4	6	16.2
すでに行っている（利用した）	8	5.3	7	6.2	1	2.7
今後利用することを考えている	2	1.3	2	1.8	0	0.0
今のところ利用する予定はない	29	19.3	19	16.8	10	27.0
この制度自体を知らない	12	8.0	8	7.1	4	10.8
わからない	15	10.0	10	8.8	5	13.5
無回答	55	36.7	44	38.9	11	29.7
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問10 「最も重大な問題」の解決状況

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
すでに解決した	64	42.7	51	45.1	13	35.1
まだ解決していないが解決の方向に向かっている	17	11.3	12	10.6	5	13.5
解決していない	31	20.7	21	18.6	10	27.0
わからない	11	7.3	9	8.0	2	5.4
無回答	27	18.0	20	17.7	7	18.9
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

問11 「最も重要な問題」の解決（現状）の満足度

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
満足している	18	12.0	18	15.9	0	0.0
どちらかといえば満足している	20	13.3	15	13.3	5	13.5
どちらともいえない	17	11.3	12	10.6	5	13.5
どちらかといえば満足していない	12	8.0	6	5.3	6	16.2
満足していない	39	26.0	27	23.9	12	32.4
わからない	7	4.7	4	3.5	3	8.1
無回答	37	24.7	31	27.4	6	16.2
合計	150	100.0	113	100.0	37	100.0

【以下、全員への質問】

問12 弁護士や司法書士の相談費用無料制度（震災特例措置）の認知・利用

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
知っていて、利用したことがある	35	14.0	32	17.0	3	4.8
知っているが、利用したことはない	105	42.0	77	41.0	28	45.2
この制度のことは知らない	98	39.2	72	38.3	26	41.9
無回答	12	4.8	7	3.7	5	8.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問13 法テラス東松島の認知・利用

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
知っていて、利用したことがある	59	23.6	52	27.7	7	11.3
知っているが、利用したことはない	134	53.6	99	52.7	35	56.5
この出張所のことは知らない	44	17.6	29	15.4	15	24.2
無回答	13	5.2	8	4.3	5	8.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問14 仙台弁護士会の法律相談センターの認知・利用

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
知っていて、利用したことがある	8	3.2	6	3.2	2	3.2
知っているが、利用したことはない	89	35.6	70	37.2	19	30.6
このセンターのことは知らない	134	53.6	98	52.1	36	58.1
無回答	19	7.6	14	7.4	5	8.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問15 仙台弁護士会の紛争解決センター（ADR）制度の認知・利用

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
知っていて、利用したことがある	3	1.2	3	1.6	0	0.0
知っているが、利用したことはない	62	24.8	52	27.7	10	16.1
この制度のことは知らない	167	66.8	120	63.8	47	75.8
無回答	18	7.2	13	6.9	5	8.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ア)A. 世帯主との続柄(世帯主本人)

問16　現在同居の家族　ア)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	174	69.6	137	72.9	37	59.7
女	54	21.6	38	20.2	16	25.8
無回答	22	8.8	13	6.9	9	14.5
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ア)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	－	－	－	－	－	－
10～19歳	－	－	－	－	－	－
20～29歳	8	3.2	3	1.6	5	8.1
30～39歳	20	8.0	9	4.8	11	17.7
40～49歳	25	10.0	18	9.6	7	11.3
50～59歳	27	10.8	23	12.2	4	6.5
60～69歳	79	31.6	68	36.2	11	17.7
70～79歳	40	16.0	30	16.0	10	16.1
80～89歳	16	6.4	11	5.9	5	8.1
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	35	14.0	26	13.8	9	14.5
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ア)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	119	47.6	95	50.5	24	38.7
無	107	42.8	78	41.5	29	46.8
無回答	24	9.6	15	8.0	9	14.5
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ア)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	148	59.2	116	61.7	32	51.6
無	74	29.6	55	29.3	19	30.6
無回答	28	11.2	17	9.0	11	17.7
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ア)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	21	8.4	10	5.3	11	17.7
無	188	75.2	151	80.3	37	59.7
無回答	41	16.4	27	14.4	14	22.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　イ)A. 世帯主との続柄
（自由記述）省略

問16　現在同居の家族　現在同居の家族　イ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	16	6.4	12	6.4	4	6.5
女	146	58.4	114	60.6	32	51.6
無回答	88	35.2	62	33.0	26	41.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　イ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	2	0.8	0	0.0	2	3.2
10～19歳	9	3.6	5	2.7	4	6.5
20～29歳	10	4.0	7	3.7	3	4.8
30～39歳	17	6.8	8	4.3	9	14.5
40～49歳	21	8.4	19	10.1	2	3.2
50～59歳	32	12.8	29	15.4	3	4.8
60～69歳	41	16.4	34	18.1	7	11.3
70～79歳	22	8.8	16	8.5	6	9.7
80～89歳	4	1.6	4	2.1	0	0.0
90歳以上	1	0.4	1	0.5	0	0.0
無回答	91	36.4	65	34.6	26	41.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　イ)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	64	25.6	54	28.7	10	16.1
無	98	39.2	72	38.3	26	41.9
無回答	88	35.2	62	33.0	26	41.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　イ)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	93	37.2	74	39.4	19	30.6
無	65	26.0	49	26.1	16	25.8
無回答	92	36.8	65	34.6	27	43.5
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　イ)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	11	4.4	5	2.7	6	9.7
無	138	55.2	110	58.5	28	45.2
無回答	101	40.4	73	38.8	28	45.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ウ)A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問16　現在同居の家族　ウ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	49	19.6	42	22.3	7	11.3
女	38	15.2	27	14.4	11	17.7
無回答	163	65.2	119	63.3	44	71.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ウ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	11	4.4	6	3.2	5	8.1
10～19歳	19	7.6	12	6.4	7	11.3
20～29歳	22	8.8	19	10.1	3	4.8
30～39歳	8	3.2	7	3.7	1	1.6
40～49歳	8	3.2	8	4.3	0	0.0
50～59歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
60～69歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
70～79歳	3	1.2	2	1.1	1	1.6
80～89歳	9	3.6	8	4.3	1	1.6
90歳以上	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無回答	164	65.6	120	63.8	44	71.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ウ)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	33	13.2	30	16.0	3	4.8
無	51	20.4	37	19.7	14	22.6
無回答	166	66.4	121	64.4	45	72.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ウ)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	31	12.4	24	12.8	7	11.3
無	54	21.6	44	23.4	10	16.1
無回答	165	66.0	120	63.8	45	72.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　ウ)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	11	4.4	8	4.3	3	4.8
無	66	26.4	53	28.2	13	21.0
無回答	173	69.2	127	67.6	46	74.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　エ)A. 世帯主との続柄
（自由記述）省略

問16　現在同居の家族　エ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	19	7.6	14	7.4	5	8.1
女	28	11.2	25	13.3	3	4.8
無回答	203	81.2	149	79.3	54	87.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　エ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	15	6.0	8	4.3	7	11.3
10～19歳	12	4.8	12	6.4	0	0.0
20～29歳	10	4.0	9	4.8	1	1.6
30～39歳	4	1.6	4	2.1	0	0.0
40～49歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
50～59歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
60～69歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
70～79歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
80～89歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	201	80.4	147	78.2	54	87.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　エ)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	13	5.2	12	6.4	1	1.6
無	33	13.2	27	14.4	6	9.7
無回答	204	81.6	149	79.3	55	88.7
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　エ)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	11	4.4	9	4.8	2	3.2
無	35	14.0	30	16.0	5	8.1
無回答	204	81.6	149	79.3	55	88.7
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　エ)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	1	0.4	1	0.5	0	0.0
無	42	16.8	35	18.6	7	11.3
無回答	207	82.8	152	80.9	55	88.7
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　オ)A. 世帯主との続柄
（自由記述）省略

問16　現在同居の家族　オ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	8	3.2	7	3.7	1	1.6
女	16	6.4	14	7.4	2	3.2
無回答	226	90.4	167	88.8	59	95.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　オ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	6	2.4	4	2.1	2	3.2
10～19歳	7	2.8	7	3.7	0	0.0
20～29歳	3	1.2	3	1.6	0	0.0
30～39歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
40～49歳	－	－	－	－	－	－
50～59歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
80～89歳	3	1.2	3	1.6	0	0.0
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	228	91.2	168	89.4	60	96.8
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　オ)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	5	2.0	5	2.7	0	0.0
無	18	7.2	16	8.5	2	3.2
無回答	227	90.8	167	88.8	60	96.8
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　オ)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	6	2.4	5	2.7	1	1.6
無	18	7.2	16	8.5	2	3.2
無回答	226	90.4	167	88.8	59	95.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　オ)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無	20	8.0	18	9.6	2	3.2
無回答	228	91.2	168	89.4	60	96.8
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　カ)A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問16　現在同居の家族　カ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	3	1.2	3	1.6	0	0.0
女	4	1.6	4	2.1	0	0.0
無回答	243	97.2	181	96.3	62	100.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　カ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	3	1.2	3	1.6	0	0.0
10～19歳	2	0.8	2	1.1	0	0.0
20～29歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
30～39歳	－	－	－	－	－	－
40～49歳	－	－	－	－	－	－
50～59歳	－	－	－	－	－	－
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	－	－	－	－	－	－
80～89歳	1	0.4	1	0.5	0	0.0
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	243	97.2	181	96.3	62	100.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　カ)D. 職業の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無	5	2.0	5	2.7	0	0.0
無回答	243	97.2	181	96.3	62	100.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　カ)E. 通院の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無	5	2.0	5	2.7	0	0.0
無回答	243	97.2	181	96.3	62	100.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　カ)F. 障害・要介護の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
有	2	0.8	2	1.1	0	0.0
無	4	1.6	4	2.1	0	0.0
無回答	244	97.6	182	96.8	62	100.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問16　現在同居の家族　同居人数

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
1人	65	26.0	47	25.0	18	29.0
2人	77	30.8	59	31.4	18	29.0
3人	38	15.2	28	14.9	10	16.1
4人	25	10.0	20	10.6	5	8.1
5人	18	7.2	15	8.0	3	4.8
6人以上	7	2.8	7	3.7	0	0.0
無回答・不詳	20	8.0	12	6.4	8	12.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問16の回答から新変数を合成して集計。

問16　現在同居の家族　世帯構成

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
単身世帯	65	26.0	47	25.0	18	29.0
2人世帯	77	30.8	59	31.4	18	29.0
3人以上世帯	88	35.2	70	37.2	18	29.0
無回答・不詳	20	8.0	12	6.4	8	12.9
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問16の回答から新変数を合成して集計。

問16　現在同居の家族　65歳以上高齢者世帯別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
65歳以上の高齢者のみ世帯	65	26.0	46	24.5	19	30.6
65歳以上の高齢者同居あり世帯	54	21.6	47	25.0	7	11.3
65歳以上の高齢者同居なし世帯	98	39.2	71	37.8	27	43.5
無回答・不詳	33	13.2	24	12.8	9	14.5
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問16の回答から新変数を合成して集計。

問17　震災前に同居していて現在別居している家族の有無

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いる	50	20.0	47	25.0	3	4.8
いない	148	59.2	101	53.7	47	75.8
無回答	52	20.8	40	21.3	12	19.4
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

【問17付問1は、震災前に同居していて現在別居している家族がいる人への質問】

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ア）A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ア）B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	31	62.0	29	61.7	2	66.7
女	19	38.0	18	38.3	1	33.3
無回答	－	－	－	－	－	－
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ア）C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	－	－	－	－	－	－
10～19歳	－	－	－	－	－	－
20～29歳	12	24.0	10	21.3	2	66.7
30～39歳	14	28.0	14	29.8	0	0.0
40～49歳	5	10.0	5	10.6	0	0.0
50～59歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
60～69歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
70～79歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
80～89歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
90歳以上	1	2.0	1	2.1	0	0.0
無回答	8	16.0	7	14.9	1	33.3
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ア）D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	21	42.0	20	42.6	1	33.3
県内（東松島市以外）	19	38.0	18	38.3	1	33.3
宮城県外	10	20.0	9	19.1	1	33.3
無回答	－	－	－	－	－	－
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ア）E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	21	42.0	20	42.6	1	33.3
別居のまま	15	30.0	15	31.9	0	0.0
その他	3	6.0	2	4.3	1	33.3
わからない	11	22.0	10	21.3	1	33.3
無回答	－	－	－	－	－	－
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　イ)A. 世帯主との続柄
（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　イ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	6	12.0	6	12.8	0	0.0
女	16	32.0	15	31.9	1	33.3
無回答	28	56.0	26	55.3	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　イ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	－	－	－	－	－	－
10～19歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
20～29歳	5	10.0	4	8.5	1	33.3
30～39歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
40～49歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
50～59歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
80～89歳	－	－	－	－	－	－
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	33	66.0	31	66.0	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　イ)D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	11	22.0	11	23.4	0	0.0
県内（東松島市以外）	6	12.0	5	10.6	1	33.3
宮城県外	4	8.0	4	8.5	0	0.0
無回答	29	58.0	27	57.4	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　イ)E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	13	26.0	12	25.5	1	33.3
別居のまま	5	10.0	5	10.6	0	0.0
その他	－	－	－	－	－	－
わからない	2	4.0	2	4.3	0	0.0
無回答	30	60.0	28	59.6	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ウ)A. 世帯主との続柄
（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ウ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	7	14.0	7	14.9	0	0.0
女	7	14.0	7	14.9	0	0.0
無回答	36	72.0	33	70.2	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ウ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
10～19歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
20～29歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
30～39歳	－	－	－	－	－	－
40～49歳	1	2.0	0	0.0	1	33.3
50～59歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
80～89歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	38	76.0	36	76.6	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ウ)D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	11	22.0	11	23.4	0	0.0
県内（東松島市以外）	2	4.0	1	2.1	1	33.3
宮城県外	－	－	－	－	－	－
無回答	37	74.0	35	74.5	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　ウ)E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	7	14.0	7	14.9	0	0.0
別居のまま	6	12.0	5	10.6	1	33.3
その他	1	2.0	1	2.1	0	0.0
わからない	－	－	－	－	－	－
無回答	36	72.0	34	72.3	2	66.7
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　エ）A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　エ）B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	5	10.0	5	10.6	0	0.0
女	3	6.0	3	6.4	0	0.0
無回答	42	84.0	39	83.0	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　エ）C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
10～19歳	3	6.0	3	6.4	0	0.0
20～29歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
30～39歳	－	－	－	－	－	－
40～49歳	－	－	－	－	－	－
50～59歳	－	－	－	－	－	－
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	－	－	－	－	－	－
80～89歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	43	86.0	40	85.1	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　エ）D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	5	10.0	5	10.6	0	0.0
県内（東松島市以外）	1	2.0	1	2.1	0	0.0
宮城県外	1	2.0	1	2.1	0	0.0
無回答	43	86.0	40	85.1	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　エ）E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	3	6.0	3	6.4	0	0.0
別居のまま	4	8.0	4	8.5	0	0.0
その他	－	－	－	－	－	－
わからない	1	2.0	1	2.1	0	0.0
無回答	42	84.0	39	83.0	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　オ）A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　オ）B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	－	－	－	－	－	－
女	5	10.0	5	10.6	0	0.0
無回答	45	90.0	42	89.4	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　オ）C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	2	4.0	2	4.3	0	0.0
10～19歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
20～29歳	－	－	－	－	－	－
30～39歳	－	－	－	－	－	－
40～49歳	－	－	－	－	－	－
50～59歳	－	－	－	－	－	－
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	－	－	－	－	－	－
80～89歳	－	－	－	－	－	－
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	47	94.0	44	93.6	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　オ）D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	4	8.0	4	8.5	0	0.0
県内（東松島市以外）	－	－	－	－	－	－
宮城県外	－	－	－	－	－	－
無回答	46	92.0	43	91.5	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　オ）E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	4	8.0	4	8.5	0	0.0
別居のまま	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－
わからない	－	－	－	－	－	－
無回答	46	92.0	43	91.5	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　カ)A. 世帯主との続柄

（自由記述）省略

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　カ)B. 性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男	－	－	－	－	－	－
女	1	2.0	1	2.1	0	0.0
無回答	49	98.0	46	97.9	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　カ)C. 年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
0～9歳	1	2.0	1	2.1	0	0.0
10～19歳	－	－	－	－	－	－
20～29歳	－	－	－	－	－	－
30～39歳	－	－	－	－	－	－
40～49歳	－	－	－	－	－	－
50～59歳	－	－	－	－	－	－
60～69歳	－	－	－	－	－	－
70～79歳	－	－	－	－	－	－
80～89歳	－	－	－	－	－	－
90歳以上	－	－	－	－	－	－
無回答	49	98.0	46	97.9	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　カ)D. 現在の居住地

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
東松島市内	－	－	－	－	－	－
県内（東松島市以外）	－	－	－	－	－	－
宮城県外	－	－	－	－	－	－
無回答	50	100.0	47	100.0	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17付問1　震災前同居・現在別居の家族　カ)E. 将来の意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いずれは同居したい	－	－	－	－	－	－
別居のまま	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－
わからない	－	－	－	－	－	－
無回答	50	100.0	47	100.0	3	100.0
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

問17　震災前同居･現在別居の家族　別居人数

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
1人	28	56.0	26	55.3	2	66.7
2人	7	14.0	7	14.9	0	0.0
3人	6	12.0	5	10.6	1	33.3
4人	3	6.0	3	6.4	0	0.0
5人	5	10.0	5	10.6	0	0.0
6人以上	1	2.0	1	2.1	0	0.0
無回答・不詳	－	－	－	－	－	－
合計	50	100.0	47	100.0	3	100.0

注）問17付問１の回答から新変数を合成して集計。

【以下、全員への質問】

問18　家族の主な働き手　A. 雇用形態

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
自営業（農林漁業、商店主、工場主など）	28	11.2	26	13.8	2	3.2
民間の正規従業員	63	25.2	51	27.1	12	19.4
常勤の公務員	3	1.2	3	1.6	0	0.0
臨時雇用（派遣、パート・アルバイト）	44	17.6	29	15.4	15	24.2
その他	21	8.4	13	6.9	8	12.9
無回答	91	36.4	66	35.1	25	40.3
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問18　家族の主な働き手　B. 産業

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
農業・林業	5	2.0	5	2.7	0	0.0
漁業・水産加工業	10	4.0	9	4.8	1	1.6
工業	24	9.6	15	8.0	9	14.5
商業・サービス業	56	22.4	47	25.0	9	14.5
公務	9	3.6	8	4.3	1	1.6
その他	29	11.6	20	10.6	9	14.5
無回答	117	46.8	84	44.7	33	53.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問18　家族の主な働き手　C. 職種

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
農林漁業	10	4.0	10	5.3	0	0.0
サービス・販売・営業職	33	13.2	28	14.9	5	8.1
事務職	9	3.6	8	4.3	1	1.6
製造・技能・保安・運輸職	49	19.6	37	19.7	12	19.4
管理職（課長以上）	6	2.4	5	2.7	1	1.6
専門職	15	6.0	10	5.3	5	8.1
その他	17	6.8	9	4.8	8	12.9
無回答	111	44.4	81	43.1	30	48.4
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問19　震災前の世帯の主な収入源

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
給与（自営業の場合は事業による収入）	152	60.8	116	61.7	36	58.1
年金	75	30.0	56	29.8	19	30.6
仕送り	3	1.2	3	1.6	0	0.0
貯蓄の取り崩し	1	0.4	0	0.0	1	1.6
失業保険	1	0.4	0	0.0	1	1.6
生活保護	2	0.8	0	0.0	2	3.2
その他	3	1.2	2	1.1	1	1.6
無回答	13	5.2	11	5.9	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問19　現在の世帯の主な収入源

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
給与（自営業の場合は事業による収入）	112	44.8	88	46.8	24	38.7
年金	99	39.6	71	37.8	28	45.2
仕送り	1	0.4	1	0.5	0	0.0
貯蓄の取り崩し	9	3.6	6	3.2	3	4.8
失業保険	－	－	－	－	－	－
生活保護	4	1.6	0	0.0	4	6.5
その他	5	2.0	3	1.6	2	3.2
無回答	20	8.0	19	10.1	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問20　震災前と現在のお金の面での暮らし向きの変化

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
苦しくなった	72	28.8	55	29.3	17	27.4
どちらかといえば苦しくなった	81	32.4	59	31.4	22	35.5
変わらない	66	26.4	53	28.2	13	21.0
どちらかといえば良くなった	14	5.6	10	5.3	4	6.5
良くなった	2	0.8	1	0.5	1	1.6
わからない	6	2.4	2	1.1	4	6.5
無回答	9	3.6	8	4.3	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問21（仮設住宅用調査票）　仮設住宅からの転居先の見通し

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
転居先はすでに決まっている	118	62.8	118	62.8	－	－
転居先の見通しはある程度たっている	45	23.9	45	23.9	－	－
転居先の見通しはあまりたっていない	9	4.8	9	4.8	－	－
転居先の見通しはまったくたっていない	7	3.7	7	3.7	－	－
無回答	9	4.8	9	4.8	－	－
合計	188	100.0	188	100.0	－	－

問21（災害復興公営住宅用調査票） 災害復興公営住宅の永住意向

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
長く住み続ける予定	46	74.2	－	－	46	74.2
持家の再建等までの「つなぎ」の予定	1	1.6	－	－	1	1.6
その他	1	1.6	－	－	1	1.6
今後のことはまだわからない	13	21.0	－	－	13	21.0
無回答	1	1.6	－	－	1	1.6
合計	62	100.0	－	－	62	100.0

問22 震災前の近隣サポート関係

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
かなりあった	56	22.4	52	27.7	4	6.5
ほどほどにあった	120	48.0	88	46.8	32	51.6
あまりなかった	45	18.0	29	15.4	16	25.8
なかった	23	9.2	14	7.4	9	14.5
わからない	3	1.2	2	1.1	1	1.6
無回答	3	1.2	3	1.6	0	0.0
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問22 現在の近隣サポート関係

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
かなりある	18	7.2	16	8.5	2	3.2
ほどほどにある	111	44.4	92	48.9	19	30.6
あまりない	70	28.0	52	27.7	18	29.0
ない	39	15.6	18	9.6	21	33.9
わからない	1	0.4	1	0.5	0	0.0
無回答	11	4.4	9	4.8	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問23　調査票回答者

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
世帯主本人	159	63.6	118	62.8	41	66.1
世帯主以外	72	28.8	56	29.8	16	25.8
無回答	19	7.6	14	7.4	5	8.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問23　回答者　性別

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男性	105	42.0	81	43.1	24	38.7
女性	117	46.8	89	47.3	28	45.2
無回答・不詳	28	11.2	18	9.6	10	16.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問23および問16の回答を照合して集計。

問23　回答者　年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
29歳以下	9	3.6	4	2.1	5	8.1
30～39歳	21	8.4	9	4.8	12	19.4
40～49歳	24	9.6	19	10.1	5	8.1
50～59歳	32	12.8	26	13.8	6	9.7
60～69歳	74	29.6	63	33.5	11	17.7
70～79歳	36	14.4	27	14.4	9	14.5
80歳以上	12	4.8	8	4.3	4	6.5
無回答・不詳	42	16.8	32	17.0	10	16.1
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問23および問16の回答を照合して集計。

問23　回答者　性･年齢

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
男性29歳以下	3	1.2	2	1.1	1	1.6
男性30～39歳	9	3.6	4	2.1	5	8.1
男性40～49歳	7	2.8	5	2.7	2	3.2
男性50～59歳	14	5.6	12	6.4	2	3.2
男性60～69歳	43	17.2	38	20.2	5	8.1
男性70～79歳	19	7.6	14	7.4	5	8.1
男性80歳以上	6	2.4	3	1.6	3	4.8
女性29歳以下	6	2.4	2	1.1	4	6.5
女性30～39歳	12	4.8	5	2.7	7	11.3
女性40～49歳	17	6.8	14	7.4	3	4.8
女性50～59歳	18	7.2	14	7.4	4	6.5
女性60～69歳	30	12.0	25	13.3	5	8.1
女性70～79歳	17	6.8	13	6.9	4	6.5
女性80歳以上	6	2.4	5	2.7	1	1.6
無回答・不詳	43	17.2	32	17.0	11	17.7
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

注）問23および問16の回答を照合して集計。

問24　震災前の考え　ア）一般的に、人は信用できる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	18	7.2	12	6.4	6	9.7
どちらかといえばそう思う	102	40.8	83	44.1	19	30.6
どちらともいえない	74	29.6	57	30.3	17	27.4
どちらかといえばそう思わない	26	10.4	18	9.6	8	12.9
まったくそう思わない	14	5.6	8	4.3	6	9.7
わからない	10	4.0	5	2.7	5	8.1
無回答	6	2.4	5	2.7	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問24　震災前の考え　イ）本当に困ったときは、必ず誰かが助けてくれる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	42	16.8	29	15.4	13	21.0
どちらかといえばそう思う	82	32.8	65	34.6	17	27.4
どちらともいえない	70	28.0	57	30.3	13	21.0
どちらかといえばそう思わない	20	8.0	14	7.4	6	9.7
まったくそう思わない	15	6.0	9	4.8	6	9.7
わからない	15	6.0	9	4.8	6	9.7
無回答	6	2.4	5	2.7	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問24　震災前の考え　ウ）近所の人は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	31	12.4	23	12.2	8	12.9
どちらかといえばそう思う	85	34.0	71	37.8	14	22.6
どちらともいえない	79	31.6	61	32.4	18	29.0
どちらかといえばそう思わない	18	7.2	11	5.9	7	11.3
まったくそう思わない	21	8.4	14	7.4	7	11.3
わからない	10	4.0	5	2.7	5	8.1
無回答	6	2.4	3	1.6	3	4.8
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問24　震災前の考え　エ）市役所の人は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	20	8.0	11	5.9	9	14.5
どちらかといえばそう思う	57	22.8	47	25.0	10	16.1
どちらともいえない	87	34.8	70	37.2	17	27.4
どちらかといえばそう思わない	38	15.2	27	14.4	11	17.7
まったくそう思わない	30	12.0	23	12.2	7	11.3
わからない	13	5.2	7	3.7	6	9.7
無回答	5	2.0	3	1.6	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問24　震災前の考え　オ）弁護士や司法書士は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	15	6.0	13	6.9	2	3.2
どちらかといえばそう思う	67	26.8	53	28.2	14	22.6
どちらともいえない	57	22.8	47	25.0	10	16.1
どちらかといえばそう思わない	16	6.4	10	5.3	6	9.7
まったくそう思わない	15	6.0	10	5.3	5	8.1
わからない	74	29.6	51	27.1	23	37.1
無回答	6	2.4	4	2.1	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問25　現在の考え　ア）一般的に、人は信用できる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	14	5.6	8	4.3	6	9.7
どちらかといえばそう思う	83	33.2	69	36.7	14	22.6
どちらともいえない	88	35.2	68	36.2	20	32.3
どちらかといえばそう思わない	25	10.0	19	10.1	6	9.7
まったくそう思わない	23	9.2	13	6.9	10	16.1
わからない	10	4.0	5	2.7	5	8.1
無回答	7	2.8	6	3.2	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問25　現在の考え　イ）本当に困ったときは、必ず誰かが助けてくれる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	42	16.8	33	17.6	9	14.5
どちらかといえばそう思う	63	25.2	48	25.5	15	24.2
どちらともいえない	75	30.0	60	31.9	15	24.2
どちらかといえばそう思わない	21	8.4	17	9.0	4	6.5
まったくそう思わない	22	8.8	11	5.9	11	17.7
わからない	20	8.0	13	6.9	7	11.3
無回答	7	2.8	6	3.2	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問25　現在の考え　ウ）近所の人は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	23	9.2	18	9.6	5	8.1
どちらかといえばそう思う	61	24.4	52	27.7	9	14.5
どちらともいえない	87	34.8	67	35.6	20	32.3
どちらかといえばそう思わない	29	11.6	20	10.6	9	14.5
まったくそう思わない	29	11.6	18	9.6	11	17.7
わからない	14	5.6	8	4.3	6	9.7
無回答	7	2.8	5	2.7	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問25　現在の考え　エ）市役所の人は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	23	9.2	14	7.4	9	14.5
どちらかといえばそう思う	60	24.0	49	26.1	11	17.7
どちらともいえない	74	29.6	61	32.4	13	21.0
どちらかといえばそう思わない	35	14.0	25	13.3	10	16.1
まったくそう思わない	34	13.6	25	13.3	9	14.5
わからない	17	6.8	9	4.8	8	12.9
無回答	7	2.8	5	2.7	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問25　現在の考え　オ）弁護士や司法書士は頼りになる

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
強くそう思う	17	6.8	15	8.0	2	3.2
どちらかといえばそう思う	65	26.0	53	28.2	12	19.4
どちらともいえない	61	24.4	45	23.9	16	25.8
どちらかといえばそう思わない	18	7.2	13	6.9	5	8.1
まったくそう思わない	16	6.4	11	5.9	5	8.1
わからない	65	26.0	45	23.9	20	32.3
無回答	8	3.2	6	3.2	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問26　最近2週間の状況　ア）明るく、楽しい気分で過ごした

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いつも	15	6.0	13	6.9	2	3.2
ほとんどいつも	51	20.4	40	21.3	11	17.7
半分以上の期間を	69	27.6	52	27.7	17	27.4
半分以下の期間を	27	10.8	23	12.2	4	6.5
ほんのたまに	62	24.8	43	22.9	19	30.6
まったくない	18	7.2	10	5.3	8	12.9
無回答	8	3.2	7	3.7	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問26　最近2週間の状況　イ）落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いつも	12	4.8	8	4.3	4	6.5
ほとんどいつも	51	20.4	41	21.8	10	16.1
半分以上の期間を	76	30.4	60	31.9	16	25.8
半分以下の期間を	30	12.0	22	11.7	8	12.9
ほんのたまに	40	16.0	30	16.0	10	16.1
まったくない	32	12.8	19	10.1	13	21.0
無回答	9	3.6	8	4.3	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問26　最近2週間の状況　ウ）意欲的で、活動的に過ごした

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いつも	12	4.8	9	4.8	3	4.8
ほとんどいつも	47	18.8	42	22.3	5	8.1
半分以上の期間を	70	28.0	54	28.7	16	25.8
半分以下の期間を	30	12.0	20	10.6	10	16.1
ほんのたまに	49	19.6	38	20.2	11	17.7
まったくない	35	14.0	20	10.6	15	24.2
無回答	7	2.8	5	2.7	2	3.2
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問26　最近2週間の状況　エ）ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いつも	15	6.0	12	6.4	3	4.8
ほとんどいつも	58	23.2	46	24.5	12	19.4
半分以上の期間を	58	23.2	44	23.4	14	22.6
半分以下の期間を	32	12.8	23	12.2	9	14.5
ほんのたまに	49	19.6	38	20.2	11	17.7
まったくない	33	13.2	21	11.2	12	19.4
無回答	5	2.0	4	2.1	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

問26　最近2週間の状況　オ）日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	全体		仮設		復興公営	
	N	%	N	%	N	%
いつも	11	4.4	11	5.9	0	0.0
ほとんどいつも	44	17.6	33	17.6	11	17.7
半分以上の期間を	48	19.2	38	20.2	10	16.1
半分以下の期間を	33	13.2	24	12.8	9	14.5
ほんのたまに	69	27.6	50	26.6	19	30.6
まったくない	39	15.6	27	14.4	12	19.4
無回答	6	2.4	5	2.7	1	1.6
合計	250	100.0	188	100.0	62	100.0

Ⅲ　調査資料

1　調査依頼状

2　調査票（仮設住宅用）

3　調査票（災害復興公営住宅用）

2015 年 2 月

「被災地の暮らしと法律に関する意識調査」ご協力のお願い

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

このたび、東京大学社会科学研究所では、東日本大震災の被災地における法律相談の仕組みやサービスの改善を図ることを目的として、被災された方々の法的支援へのニーズについてご意見をうかがうため、「被災地の暮らしと法律に関する意識調査」を実施することになりました。

調査の実施は、㈱日本リサーチセンターに委託しています。

ご多忙中勝手なお願いで誠に恐縮ですが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ アンケートの内容と目的

このアンケートは、東日本大震災の被災地において、法律や法律相談などの仕組みがどのような役割を果たしているのかの実情を知るとともに、被災地における法律相談の仕組み・サービスの改善を図るため、被災した方々が抱える法的支援のニーズを把握することを目的としております。

お答えいただいた結果は、「○○という回答が△△％」というように、全て統計的数字にまとめますので、個人が特定される情報が利用されたり、流出したりすることは絶対にありません。

■ アンケートをお願いする方

このアンケートは、宮城県東松島市の仮設住宅、災害復興公営住宅に現在お住まいの方を対象に、ご意見をお伺いするものです。

アンケート票へのご記入は、世帯主の方もしくは世帯の状況がわかる方にお願いいたします。

■ 実施期間　2015 年 2 月 7 日（土）～2 月 28 日（土）

■ 謝　礼

些少ではございますが、ご協力の御礼として「クオカード 500 円分」をご用意しております。

※「クオカード」とは、コンビニエンスストア・書店・ドラッグストア・ファミリーレストラン・ガソリンスタンドなどでご利用いただける、全国共通のプリペイドカードです。（詳しくはアンケート票の最後をご覧ください。）

■ アンケートの企画

東京大学社会科学研究所 佐藤岩夫研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学社会科学研究所

ホームページ: http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp

■ アンケートの実施・問い合わせ先

【調査実施・お問合せ先】

株式会社日本リサーチセンター

調査部　担当：○○・○○

フリーダイヤル　0120-○○-○○（平日 10:00～17:00）

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町２－７－１

ホームページ　http://www.nrc.co.jp

品質マネジメントシステム　：　日本リサーチセンターの品質マネジメントシステムは、国際標準規格であるＩＳＯ9001 の適合システムとして 2000 年から審査登録されています。

「たいせつにしますプライバシー」：個人情報について十分な保護策を講じている企業・団体に対して一般財団法人 日本情報経済社会推進協会が認定していることをあらわすものです。

㈱日本リサーチセンターは、1960 年に創設された、歴史のあるマーケティングリサーチ会社のひとつです。個人情報保護法、および社団法人日本マーケティングリサーチ協会の「マーケティングリサーチ綱領」を遵守して、世論調査・市場調査を行っております。

2015-01031-000　　① 仮設住宅用

被災地の暮らしと法律に関する意識調査

この調査では、震災発生からこれまでの間に、あなたやご家族のまわりで起きた法律問題についておうかがいします。

この調査は、被災地において、法律や法律相談などの仕組みがどのような役割を果たしているのかについての実情を、多くの被災者の方のご意見をもとにして知り、これによって被災地における法律や法律相談の仕組みやサービスを改善していくことを目的にしています。

回答はすべて数値化したデータとして処理しますので、個人が特定される情報が利用されたり、流出したりすることは絶対にありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査主体：東京大学社会科学研究所 佐藤岩夫研究室
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学社会科学研究所
ホームページ: http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp

〔記入上のお願い〕

◎この調査は、世帯主の方もしくは世帯の状況がわかる方にお願いしております。

◎回答は数字を記入するものと、回答の数字を○で１つまたは複数囲むものがあります。
質問文の文末の（　　）の中の○の数の指示に沿って、お答えください。

◎ご回答いただきましたアンケート票は、**2 月 28 日(土)**までに同封の返信用封筒に入れて投函ください。

◆ ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施・お問合せ先】
株式会社日本リサーチセンター
調査部　担当：○○・○○
フリーダイヤル　0120-○○-○○（平日 10:00～17:00）
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町２－７－１
ホームページ　http://www.nrc.co.jp

【全員の方に】

Ⅰ　まず最初に、震災発生当時のお住まいについておうかがいします。

問１　震災発生当時にお住まいだった場所はどこでしたか。あてはまる方に○をつけたうえで、（　　）内に具体的な町名、または都道府県・市区町村名をご記入ください。（○は１つ）

1	宮城県東松島市 ⇒	（　　）町
2	それ以外の場所 ⇒	（　　）都･道･府･県（　　）市･区･町･村

問２　震災発生当時のあなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。（○は１つ）

1	持ち家（一戸建て）	4	民間の賃貸住宅（一戸建て）
2	持ち家（集合住宅）	5	民間の賃貸住宅（集合住宅・アパート）
3	公的な賃貸住宅（市営・県営・公団・雇用促進住宅）	6	社宅・官舎・寮
		7	その他（具体的に：　　）

問３　震災発生当時のあなたのお住まいは、震災でどのような被害を受けましたか。（〇は１つ）
※お手元に「り災証明書」がある方はそれに従ってご記入ください。

1　全壊	**2**　大規模半壊	**3**　半壊	**4**　一部損壊	**5**　被害はなかった

【全員の方に】

Ⅱ　ここからは、震災発生から現在までのあなたやご家族のご経験についておうかがいします。

問４　震災発生からこれまでの間に、あなたやご家族は、どなたかとの間で、次のような問題を経験したことはありますか。選択肢の中からあてはまるものを**いくつでも**選んで、番号に〇をつけてください。（〇はいくつでも）

1	商品やサービスの欠陥や返品、解約	**15**	解雇・雇い止め
		16	労働災害・安全衛生に関する問題
2	借金	**17**	子どものいじめ等学校に関する問題
3	貸金	**18**	地震保険の保険金請求
4	土地・建物の賃貸借	**19**	それ以外の民間の保険金請求
5	土地・建物の売買、建築など	**20**	税金に関する問題
6	住宅ローン	**21**	年金・福祉に関する問題
7	土地の境界	**22**	生活保護に関する問題
8	現在のお住まいでの近隣関係	**23**	義援金・災害支援金等の給付金に関する問題
9	交通事故の損害賠償	**24**	自治体による土地の買い上げに関する問題
10	それ以外の損害賠償	**25**	東京電力福島第１原子力発電所事故に関する問題
11	離婚	**26**	その他（上記 1～25 以外）の問題（具体的に：　　）
12	相続、遺言		
13	家庭内暴力（DV）	**27**	問題は経験していない
14	賃金・退職金	**99**	わからない

→ **6 ページ 問 12 へ**

【問４で「１」～「２６」の問題を経験した方におうかがいします】

問５　問４で〇をつけた問題の中で、あなたやご家族にとって**最も重大な問題**はどれですか。
あてはまるものを**１つだけ**選んで、その番号を記入してください。
※つけた〇が１つのときはその番号を記入してください。

最も重大な問題 の番号は　［　　］

付問１　その「最も重大な問題」の内容や経過をご記入ください。

付問２　その「最も重大な問題」**が最初に起きた時期**はいつ頃でしたか。「平成」あるいは「西暦」のどちらかに○をつけたうえで、その年月をご記入ください。（**○は１つ**）

1	平成	（　　）　年　（　　）　月頃
2	西暦	

付問３　その「最も重大な問題」は**震災と関係**していますか。（**○は１つ**）

1	強く関係している	**4**	あまり関係していない
2	少し関係している	**5**	まったく関係していない
3	どちらともいえない	**9**	わからない

付問４　その「最も重大な問題」は、お金に換算するとすれば、おおよそ何万円くらいになるか、わかりますか。お金に換算できるときは、おおよその金額を教えてください。（**○は１つ**）
※金額が１万円未満の場合は１万円とご記入ください。

1	わかる　⇒　おおよそ（　　）万円
2	わからない
9	お金には換算できない

【ここからは、今お答えいただいた「あなたやご家族にとって最も重大な問題」について、相談や解決のご様子をおうかがいします。】

問６　その「最も重大な問題」を解決するために、**弁護士や司法書士に相談**しましたか。
（**○はいくつでも**）

1	**弁護士の事務所**に相談した
2	**司法書士の事務所**に相談した
3	**弁護士会**に相談した
4	**司法書士会**に相談した
5	**法テラスの事務所や出張所に**相談した
6	**避難所や仮設住宅に来た弁護士**に相談した
7	**避難所や仮設住宅に来た司法書士**に相談した
8	**その他の場所・方法で**弁護士・司法書士に相談した （具体的に：　　）
9	弁護士や司法書士には相談していない　**⇒次ページ付問４へ**
99	わからない

【問６で「１」～「８」に○をつけた方に】

付問１　問６で○をつけた中で**最も役に立った弁護士または司法書士**はどれですか。あてはまるものを**１つだけ選んで**、その番号を記入してください。
※つけた○が１つのときはその番号を記入してください。

最も役に立った弁護士または司法書士 の番号は [　　]

付問２　その「最も役に立った弁護士や司法書士」は**何を**してくれましたか。
（**○はいくつでも**）

1	あなたの話を聞いてくれた
2	法律や制度に関する情報を与えてくれた
3	相手方とのあいだに入って交渉してくれた
4	問題を自分で解決する具体的な方法を教えてくれた
5	他の機関や専門家を紹介してくれた （どのような機関・専門家ですか：　　）
6	不安な気持ちを落ち着かせてくれた
7	上記以外のことをしてくれた（具体的に：　　）
8	なにもしてくれなかった
9	わからない

付問３　その「最も役に立った弁護士や司法書士」に**満足**していますか。（**○は１つ**）

1	満足している	**4**	どちらかといえば満足していない
2	どちらかといえば満足している	**5**	満足していない
3	どちらともいえない	**9**	わからない

⇒次ページ問７へ

【前ページ問 6 で「９　弁護士や司法書士には相談していない」に○をつけた方に】

付問４　弁護士や司法書士に相談していない理由は何ですか。（**○はいくつでも**）

1	時間や手間がかかりそうだから
2	費用がかかりそうだから
3	相談できる弁護士や司法書士を知らないから
4	事務所が近くにないから
5	敷居が高いから
6	弁護士や司法書士に相談するほどの問題ではないから
7	分野が違うと思うから
8	他の専門家に相談するから
9	自分で解決したいから
10	人に知られたくないから
11	相談しても無駄だと思うから
12	その他（具体的に：　　）
99	わからない

⇒次ページ問７へ

問７　その「最も重大な問題」を解決するために、**弁護士や司法書士以外には**誰かに相談しましたか。（**○はいくつでも**）

1	家族・親せき	**9**	行政書士、税理士、社会保険労務士
2	友人・知人・同僚	**10**	保険会社
3	生活支援相談員、民生委員、児童委員	**11**	金融機関
4	福祉事務所、社会福祉協議会、地域包括支援センター	**12**	ボランティア・民間団体
5	消費生活センター	**13**	その他の相談機関や専門家（具体的に：　　）
6	労働基準監督署、ハローワーク、労働局	**14**	以上のどこにも相談していない
7	警察	**99**	わからない
8	上記３～７以外の国・都道府県・市町村の窓口（具体的に：　　）		

問８　その「最も重大な問題」を解決するために、**書籍やインターネット**を利用して調べましたか。（**○は１つ**）

1	調べた	**2**	調べなかった	**9**	わからない

問９　その「最も重大な問題」を解決するために、次の解決手続を利用しましたか。

Ａ　**裁判・調停**を行いましたか。（**○は１つ**）

1	すでに行っている（行った）
2	今後行うことを考えている
3	今のところ行う予定はない
9	わからない

Ｂ　**仙台弁護士会の「震災ＡＤＲ」**を利用しましたか。（**○は１つ**）

1	すでに行っている（行った）
2	今後行うことを考えている
3	今のところ行う予定はない
4	この制度自体を知らない
9	わからない

Ｃ　住宅ローン等の問題を解決するために、住宅ローン等を簡易に整理する手続（**私的整理ガイドライン**）を利用しましたか。（**○は１つ**）

1	住宅ローン等の問題は抱えていない
2	すでに利用している（利用した）
3	今後利用することを考えている
4	今のところ利用する予定はない
5	この制度自体を知らない
9	わからない

問 10　その「最も重大な問題」は、すでに**解決**していますか。（**○は１つ**）

1	すでに解決した	**3**	解決していない
2	まだ解決していないが、解決の方向に向かっている	**9**	わからない

問 11　その「最も重大な問題」の**解決に満足**していますか。まだ解決していない場合は、現在の状況について、お答えください。（**○は１つ**）

1	満足している	**4**	どちらかといえば満足していない
2	どちらかといえば満足している	**5**	満足していない
3	どちらともいえない	**9**	わからない

【ここからは全員の方におうかがいします】

問 12　現在、**国の特例措置**で、東日本大震災で被災した方については、**弁護士や司法書士に相談する費用が無料**とされています。あなたはこの制度を知っていますか。（**○は１つ**）

1　知っていて、利用したことがある
2　知っているが、利用したことはない
3　この制度のことは知らない

問 13　現在、東松島市には、**法テラス（日本司法支援センター）の出張所**が設置され、法律相談を行っています。あなたはこの出張所を知っていますか。（**○は１つ**）

1　知っていて、利用したことがある
2　知っているが、利用したことはない
3　この出張所のことは知らない

問 14　現在、**仙台弁護士会**では、仙台市の**法律相談センター**のほか、県内５か所（古川、気仙沼、登米、大河原、石巻）にも法律相談センターを設置し、法律相談を行っています。
あなたはこの法律相談センターを知っていますか。（**○は１つ**）

1　知っていて、利用したことがある
2　知っているが、利用したことはない
3　このセンターのことは知らない

問 15　現在、**仙台弁護士会**では、仙台市に**紛争解決センター**（ＡＤＲ）を設置し、身の回りのトラブルを迅速に解決する援助を行っています。あなたはこの制度を知っていますか。（**○は１つ**）

1　知っていて、利用したことがある
2　知っているが、利用したことはない
3　この制度のことは知らない

【全員の方に】

Ⅲ　あなたやご家族のこと、現在のお暮らし等についておうかがいします。

問 16　現在ご一緒に生活されている方について、おうかがいします。

（1）「 ア）」の行に世帯主ご本人について「B 性別」「C 年齢(満年齢)」「D 職業の有無」「E 通院の有無」「F 障害・要介護の有無」をご記入ください。

（2）「 イ)」の行以降には、世帯主以外で現在ご一緒に生活をされている方について、「A 世帯主との続柄」をご記入のうえ、同様に「B」～「F」をご記入ください。

※障害者手帳をお持ちの方、要介護認定を受けておられる方は、「障害・要介護の有無」の欄の「有」に〇をつけてください。

	A：世帯主との続柄	B：性別	C：年齢（満年齢）	D：職業の有無	E：通院の有無	F：障害・要介護の有無
例	長男の妻	1 男 (2) 女	４５	(1) 有 2 無	(1) 有 2 無	1 有 (2) 無
ア)	世帯主本人	1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無
イ)		1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無
ウ)		1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無
エ)		1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無
オ)		1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無
カ)		1 男 2 女		1 有 2 無	1 有 2 無	1 有 2 無

問 17　震災前に同居していて、現在別居となっている方がおられますか。（○は１つ。）

1　いる	2　いない	⇒次ページ問 18 へ

【問 17 で「１　いる」に○をつけた方に】

付問１　震災前には同居していて現在別居されている方について、それぞれ「A　世帯主との続柄」「B　性別」「C　年齢（満年齢）」「D　現在の居住地」「E　将来の意向」をご記入ください。

	A：世帯主との続柄	B：性別	C：年齢	D：現在の居住地	E：将来の意向
例	次男	①男 2 女	２１	1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） ③宮城県外	①いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
ア)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
イ)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
ウ)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
エ)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
オ)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない
カ)		1 男 2 女		1 東松島市内 2 県内（東松島市以外） 3 宮城県外	1 いずれは同居したい 2 別居のまま 3 その他（　　） 4 わからない

問 18　現在、ご家族の主な働き手のお仕事は次のどれにあてはまりますか。
「Ａ　雇用形態」「Ｂ　産業」「Ｃ　職種」のそれぞれに関してお答えください。

Ａ　雇用形態（○は１つ）

1	自営業(農林漁業、商店主、工場主など)	4	臨時雇用(派遣、パート・アルバイト)
2	民間の正規従業員	5	その他(具体的に：　　)
3	常勤の公務員		

Ｂ　産業（○は１つ）

1	農業・林業	4	商業・サービス業
2	漁業・水産加工業	5	公務
3	工業	6	その他（具体的に：　　）

Ｃ　職種（○は１つ）

1	農林漁業	5	管理職(課長以上)
2	サービス・販売・営業職	6	専門職
3	事務職	7	その他(具体的に：　　)
4	製造・技能・保安・運輸職		

問 19　世帯の主な収入源についてお尋ねします。震災前の収入源のなかで、最も主要なものはどれでしたか。また、現在の収入源のなかで、最も主要なものはどれですか。
（震災前と現在それぞれに関して１つずつ○）

震災前　（○は１つ）		現　在　（○は１つ）	
1	給与（自営業の場合は事業による収入）	1	給与（自営業の場合は事業による収入）
2	年金	2	年金
3	仕送り	3	仕送り
4	貯蓄の取り崩し	4	貯蓄の取り崩し
5	失業保険	5	失業保険
6	生活保護	6	生活保護
7	その他（　　）	7	その他（　　）

問 20　お金の面での現在の暮らし向きは、震災前とくらべて変わりましたか。（○は１つ）

1	苦しくなった	4	どちらかといえば良くなった
2	どちらかといえば苦しくなった	5	良くなった
3	変わらない	9	わからない

問 21　現在のお住まい（仮設住宅）からの転居先について、見通しがたっていますか。（○は１つ）

1	転居先はすでに決まっている
2	転居先の見通しはある程度たっている
3	転居先の見通しはあまりたっていない
4	転居先の見通しはまったくたっていない

問 22　ご近所づきあいで、あなた自身やご家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったりという関係は、震災前はどのくらいありましたか。
また、現在はどのくらいありますか。（震災前と現在それぞれに関して１つずつ○）

震災前　（○は１つ）	現　在　（○は１つ）
1　かなりあった	1　かなりある
2　ほどほどにあった	2　ほどほどにある
3　あまりなかった	3　あまりない
4　なかった	4　ない
9　わからない	9　わからない

Ⅵ　回答者ご自身のことについて

問 23　このアンケート票をご記入いただいた方はどなたですか。（○は１つ）

1　世帯主本人
2　世帯主以外　⇒世帯主との続柄（具体的に：　　）　※例）妻、長男、次男の嫁 など

問 24　あなたは、震災前、次のことについてどう思っていましたか。（○はそれぞれ１つずつ）

		強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない	わからない
ア）	一般的に、人は信用できる	1	2	3	4	5	6
イ）	本当に困ったときは、必ず誰かが助けてくれる	1	2	3	4	5	6
ウ）	近所の人は頼りになる	1	2	3	4	5	6
エ）	市役所の人は頼りになる	1	2	3	4	5	6
オ）	弁護士や司法書士は頼りになる	1	2	3	4	5	6

問 25　あなたは、現在、次のことについてどう思っていますか。（○はそれぞれ１つずつ）

		強くそう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	まったくそう思わない	わからない
ア）	一般的に、人は信用できる	1	2	3	4	5	6
イ）	本当に困ったときは、必ず誰かが助けてくれる	1	2	3	4	5	6
ウ）	近所の人は頼りになる	1	2	3	4	5	6
エ）	市役所の人は頼りになる	1	2	3	4	5	6
オ）	弁護士や司法書士は頼りになる	1	2	3	4	5	6

問 26　以下の５つの各項目について、最近２週間のあなた自身の状態にもっとも近いものはどれですか。（○はそれぞれ１つずつ）

	最近２週間、私は･･･	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない
ア）	明るく、楽しい気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
イ）	落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
ウ）	意欲的で、活動的に過ごした	1	2	3	4	5	6
エ）	ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた	1	2	3	4	5	6
オ）	日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1	2	3	4	5	6

Ⅶ　今回の震災やその後のご経験、これからの住まいや仕事・暮らしのこと、法律専門家への期待などについてお考えやご意見を自由にお書きください。

□

以上で質問は終わりです。長時間ご協力ありがとうございました。

＊ご返信いただく際の注意事項

・返信用封筒に下記の 2 点を入れてご返信ください。

① ご記入済みのアンケート票（本冊子）

② お礼の品発送シール

・ご回答の謝礼としまして、「クオカード 500 円分」をご用意しております。

・同封いたします、「お礼の品発送シール」にご記入いただいた宛先に謝礼をご送付いたします。

お間違えや入れ忘れの無いよう、ご注意ください。

※お礼の品発送シールにご記入いただいた個人情報は、謝礼送付のためのみに使用致します。

※お礼の品発送シールをご同封いただけなかった場合は、謝礼をご送付致しかねますことをご了承ください。

② 災害復興公営住宅用調査票

問 21 が下記質問であるほかは、①仮設住宅用の調査票と同じ体裁・内容である。

問 21　現在のお住まい（災害復興公営住宅）に長く住み続けるご予定ですか。（○は１つ）

1	長く住み続ける予定である
2	持家の再建・新築・購入を考えており、それまでの「つなぎ」の予定である
3	その他（　　）
4	今後のことはまだわからない

Ⅳ　調査実施グループ

（50 音順、☆は調査グループ代表）

阿部　昌樹（大阪市立大学大学院法学研究科・教授）

樫村　志郎（神戸大学大学院法学研究科・教授）

佐藤　岩夫（東京大学社会科学研究所・教授）　☆

高橋　　裕（神戸大学大学院法学研究科・教授）

土屋　明広（岩手大学教育学部・准教授）

平山　洋介（神戸大学大学院人間発達環境学研究科・教授）

被災地の暮らしと法律に関する意識調査

（宮城県東松島市調査）基礎集計書

2015 年８月刊行（非売品）
編集：佐藤　岩夫
発行：被災地の暮らしと法律に関する意識調査（宮城県
　　東松島市調査）調査実施グループ